

特別支援学級 算数科学習指導案

対象児童 2年男子 R

指導者 ○○○○

1 単元名 かけ算（2） 九九をつくろう

2 単元について

(1) 児童について

2年児童Rは、1年生の時は、数の概念理解や計算が難しい状態であった。しかし、2年生になってからは、答えが20までの加減計算や10のまとまりを意識した計算に興味を持ち始め、繰り返し学習しながら、理解することができた。その後、1学期末までに、具体的な場面にに基づきながら、2位数の加減計算を覚えた。そして、2学期に入り、前単元では、新しい計算として乗法の学習に挑戦し、少しずつ「1つ分の数」「いくつ分」の意味を理解しながら、5、2、3、4の段の九九の構成を学習することができた。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領第2学年の内容「A数と計算」の(3)「乗法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。」を受けての内容であり、前単元に続いて6、7、8、9、1の段の九九を完成させるものである。これまで活用してきた性質（乗数が1増えると積は被乗数分増える）を理解させながら、交換法則、分配法則にも少し触れ、また、アレイ図等を児童Rに合うように活用しながら、児童R自らが九九を構成できるように取り組ませたい。その後、適用問題では、実際の生活に生かせるような練習問題を準備し、九九をより理解させるように努めたい。

本単元の指導にあたっては、まず、単元を通して、問題提示の工夫をしていく。児童Rが興味関心の高い具体物、半具体物を提示し、実際に操作させながら問題場面のイメージを持たせやすくし、確かな課題把握をさせる。次に、課題をどのように解決していけばよいかの「見通し」を大事に扱いたい。前単元で学習した乗法の性質やきまりを活用させ、概念形成がしやすいようにある程度パターン化した指導を繰り返しながら、児童自身が意欲的に九九を構成していけるように支援をしていく。理解習熟のための振り返りのさせ方については、振り返りの観点を、明確にする。九九をどのように構成してきたかを振り返らせ、児童自身が、学習して分かったことについて、自分の言葉で発表できるようにさせたい。

3 単元に関わる実態と目標

(1) 単元の目標

◎乗法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。

(2) 個別の実態と目標

児童	単元にかかわる実態	単元の目標
2年R (知的)	<ul style="list-style-type: none">・2学年の算数を個別に学習している。・理解するのに時間がかかる。手指の巧緻性に課題がある。・数の計算をするとき、指を使って計算するのを覚え始めた。・数の計算をするとき、10のまとまりを意識できるようになった。・2位数の加減計算で、筆算を使って答えを出せるようになった。	<ul style="list-style-type: none">・乗法九九の構成や計算の仕方を考えようとする。【関心・意欲・態度】・乗法九九（6、7、8、9、1の段）を構成し、唱えることができる。【技能】

4 単元の指導計画（18時間扱い）

小単元	時	学 習 活 動
①6の段の九九 7の段の九九	1 本時	・6の段の九九を構成をする。
	2	・6の段の九九を暗唱し、覚える。
	3	・6の段の九九の適用問題に取り組む。
	4	・7の段の九九を構成をする。
	5	・7の段の九九を暗唱し、覚える。
	6	・7の段の九九の適用問題に取り組む。
②8の段の九九 9の段の九九 1の段の九九	7	・8の段の九九を構成をする。
	8	・8の段の九九を暗唱し、覚える。
	9	・8の段の九九の適用問題に取り組む。
	10	・9の段の九九を構成をする。
	11	・9の段の九九を暗唱し、覚える。
	12	・9の段の九九の適用問題に取り組む。
	13	・1の段の九九を構成する。
	14	・1の段の九九を暗唱し、覚える。1の段の九九の適用問題に取り組む。
	15	・九九の習熟・定着を図る。
③ばいとかけ算	16	・倍を用いた問題に取り組む。
④九九のひょうとしまり	17	・乗数と積の関係、乗法の交換法則について知る。
⑤まとめもんだい	18	・日常生活の中で見られる九九を用いて計算できる問題に取り組む。 ・学習内容の習熟を図る。

5 本時の指導

(1) 目標と評価

児童	個別目標	評価規準
2年R	・6の段の九九の構成の仕方が分かる。	・1つ分の数が、6であることが分かる。 ・乗数が1増えると、積は6増えることが分かる。

(2) 本時の支援の手立て

① 確かな課題把握

手立て1 興味関心の高い教具を用いて、学習意欲を高める。

児童が意欲的に学習を進めることができるように、興味関心の高い半具体物（さら、いちご）を用いて問題把握をさせ、課題設定につなげたい。

② 確かな理解につながる支援

手立て2 半具体物やアレイ図を提示し、思考を助ける。

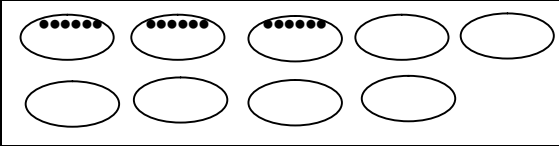



半具体物や板書の絵、アレイ図を切り離したものを見せながら、6の段の九九の構成であることを確認し、九九を構成するための足し算に取り組みさせる。自力で難しい場合は、教師と一緒に進める。

③ 理解習熟のための振り返り

手立て3 口頭による振り返り

本時の学習を振り返らせながら、分かったことを口頭で発表させる。

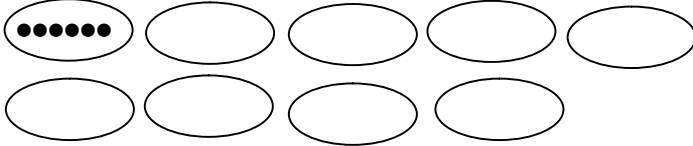
(3) 展開

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点 ◆評価 《評価方法》
つかむ 10分	<p>1 既習の振り返り</p> <p>2 本時の題意を捉える。</p>  <p>3 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>6のだんの九九を、くふうしてつくりましょう。</p> </div> <p>○どのようにして6の段を作りますか。</p> <p>①6ずつたす。 【たす】</p> <p>②前の答えに6をたす。 【つけたす】</p> <p>③かけられる数とかける数とをかえる。 【とりかえる】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足し算カードで足し算の復習をさせる。 ・ 5, 2, 3, 4の段の九九を構成して覚えたことを振り返らせる。 <p>【手立て1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が好きないちごの模型を使って、本時の問題を把握させる。(さら, 模型のいちご) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>いちごが1さらに6こずつ入っています。おさらは、なんまいかあります。いちごの数をしらべましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一皿の中に6個のいちごが入っていることから、既習の学習を想起させ、6の段の九九の構成の学習であることに気づかせる。 ・ ワークシートに「6のだん」を記入させ、「6のだん」を意識させる。 ・ 前単元でも使用した【たす】【つけたす】【とりかえる】のカードを提示し、課題解決の見通しを持たせる。
ふかめ 25分	<p>4 自力解決をする。(一人学び)</p> <p>○6の段の九九を作らしましょう。</p> <p>6×5までの九九の答えを書きましょう。</p> <p>方法1 $6 \times 1 = 6$ $6 \times 2 = 6 + 6$</p> <p>方法2 $6 \times 2 = 12$ $6 \times 3 = 12 + 6$</p> <p>方法3 $6 \times 2 = 2 \times 6 = 12$</p> <p>5 一緒に解決する。</p> <p>○どのように6の段を作ったのか発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初、自力解決の時間をとるが、難しい場合は、教師も手伝いながら足し算を進めさせる。 ・ たし算は、ワークシートに書かせる。 ・ たし算をするための筆算シートも用意しておく。 <p>【手立て2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アレイ図を切り離れた図を見せながら、九九を作らせていく。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>$6 \times 1 = 6$</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$6 \times 2 = 12$</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$6 \times 3 = 18$</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自力でできないときは、無理をさせないで教師と一緒に九九を作る。
ま	<p>6 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>6のだんの九九のつくりかた</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6ずつたす。 【たす】 ・ 前のこたえに6をたす。 【つけたす】 	

と め る 10分	<p>・かけられる数とかける数とをかえる。 【とりかえる】</p> <p>7 6×6～6×9の九九を構成する。 (時間があれば, 練習問題に取り組む。)</p> <p>8 学習を振り返る。</p>	<p>・まとめをいかして6×6～6×9の九九を構成させる。 (時間があれば, PCを使った練習問題に取り組ませる。)</p> <p>【手立て3】 ◆今日の学習を振り返らせながら, 分かったことを発表させる。 6の段の九九の作り方で分かったこと 《発表》</p>
--	--	---

(4) 板書計画

いちごの 数を しらべましょう。



6のだんの 九九を
くふうして つくりましょう。

つくりかた

- ・ 6 ずつ たす。 たす
- ・ 前のこたえに 6 を たす。 つけたす
- ・ かけられる数 と かける数 を とりかえる。
とりかえる

6のだんの九九

6 × 1 = 6	6 + 6	2 × 6
6 × 2 = 12	12 + 6	3 × 6
6 × 3 = 18	18 + 6	4 × 6
6 × 4 = 24	24 + 6	5 × 6
6 × 5 = 30	30 + 6	
6 × 6 = 36	36 + 6	
6 × 7 = 42	42 + 6	
6 × 8 = 48	48 + 6	
6 × 9 = 54	54 + 6	

⑥

- ・ 6 ずつ たす。
- ・ 前のこたえに, 6 を たす。 6 大きくなる。
- ・ とりかえる。